

三好市まちづくり条例を考える市民委員会のまとめ(第 11 回)

テーマ : 前文に盛り込みたいフレーズ、キーワード

三好市の地理、歴史、文化的特徴

□ 三好市は四国のへそ、四国の中央

- 四国の真ん中だから皆が来やすい、色々なことができる
- 四国の要
- 四国の中心（へそ）である
- 「そら」 空の郷、天空
- 星と人との交わる所（山の上の方まで民家の灯がある）
- 四国一の面積である
- 四国のへそ

□ 豊かな自然に恵まれた地域（剣山、吉野川、大歩危小歩危）

- 剣山
- 水と緑が誇り
- 吉野川の上流に栄えた文化
- 自然が豊かである
- 四国の水が落ち合うところ
- 大歩危小歩危
- 自然が生き生き人に誇れる故郷づくり
- 剣山、吉野川
- 観光
- 多くの歴史文化遺産、恵まれた観光資源を活かす
- 豊かな水
- 三好市の自然を守る
- 自然が生き生き豊かな自然

まちづくりと自治の原則

□ 人が輝く、住民一人ひとりが生き生きと輝く協働のまち

- 「市民主役のまちづくり」が基本
- 市民主役

- 三好市では地域住民が積極的にまちづくりに参加する
- 住民参画を基本とした協働のまち
- 行政と市民の連携で輝く未来づくり
- 行政と市民との協働

□ コミュニティを大切にし、共に助け合う

- 共に助け合うまち三好
- 協働、共助、地域で助け合う精神を皆が持つ
- 人口減少の中で助け合う流れを作りたい
- 地域を活かした魅力ある煌めくまち
- 地域活動が活発なまちづくり

□ 市民が力を合わせて一体となってまちづくりに取り組む

- 山間部でも平地でも皆が1つになる
- 1人1人が1つになる、市として力を合わせる
- 皆で力を合わせる（行政、議会、市民が一緒に）
- 市民、行政、議会の責務
- 三好市内地域間交流を進め、三好市が一体となる感覚を身につける、三好市の発展に繋げる
- 子供の頃から地区間の交流によって三好市としての一体感を

まちづくりのビジョン、めざすべき三好市の姿

□ 恵まれた自然、地勢、歴史を活かしたまちづくり

- 四国の副都心としての心構え
- 四国の中央に位置する交通の要衝である市が文化、スポーツ、交流の拠点となる意識付けが大切である

□ 伝統文化を受け継ぎ、自然と共生するまちづくり

- 自然との共生
- 「山の生活」を守る
- 伝統文化
- 暮らしの伝統を受け継いでいく

□ 人にやさしい、安全・安心なまちづくりをめざす

- 人に優しいまち

- 温もりのあるまち三好
- 老後を暮らしたいと思うまち
- 安全で安心して暮らせるまち三好市
- 豊かで生き生き安心・安全なまち
- お年寄りが安心して暮らせるまちを目指す
- 安心して子供を産み育てられるまち
- 市民の健康と幸福

□ 子どもたちが誇りを持てるまちづくり

- 子供は地域の宝として皆で守り育てる
- 子供たちが地域を誇れるように育てる
- 高齢化の中、これから地域を残すため、子供の時から地域の特性歴史の中から誇りを持たせることが土地離れを止め人口の安定に繋がる
- 三好市に住み続けたい、誇りを持った子供に育てたい
- 産まれた地として三好を自慢できるようにしたい
- あふれる笑顔と未来のために
- 市内間交流によって子供に夢を託したい

□ 定住できる環境づくり

- 定住と交流を育むまち
- 定住できるような環境を整る
- 若者の定住できる市づくり
- 退職者の自己実現型のスローライフ定住と交流の町づくり
- 起業できる環境

キーワード、意見

- 三好から「三つの好き」があるといい
- 三好長慶→みよしなかよし
- いきいき三好市、輝く三好市など、この言葉を入れて欲しい
- 6か町村の輪
- 市内の校歌を参考にしてはどうか？
- 良い言葉だけでは記憶に残らないので個性が欲しい